

和's YAMATO

わす やまと

Winter
2010

群馬大橋と利根川

群馬県民に親しまれている、昭和22年に作られた『上毛カルタ』の中で、利根川は「利根は坂東一の川」と詠まれています。坂東とは関東、太郎とは古くは長男を表す言葉です。全長322kmの利根川は、信濃川に次いで2番目に長い大河川です。



名水探訪・番外篇

水のこぼれ話

大和環境技術研究所

阿部 三郎

和sヤマトの「和」は、Water & Airの頭文字のWAを表していますが、ここで少し、水についての世情の雑話で、くつろいでみたいと思います。

学問の部類に「水文学」なるものがありますが、これは水に関連する文芸作品について云々するものではなく天文学と同じように「スイモンガク」と読み、辞書によれば次のようなものです。『水文学』とは、「地球上の水の状態や変化を、水の循環の立場から研究する学問で、河川、湖沼、地下水などの陸上の水（陸水）が主な研究対象であり、水資源の開発、保全にはその知識が不可欠で、物理学的側面が強い傾向にあり、これに対し『陸水学』は化学的、生物学的側面が強い学問である。」

小貝川に人為的に接続して、利根川の東遷を実現させたこととです。

水といえは、「龍」にまつわる話が、いろいろな形で出てきますが、辞書では「龍は水を治める想像上の霊獣」とされています。しかし一説では「揚子江」の存在以前に、巨大な鱷が古代中国の河川にも棲息していた、河に君臨し、龍という名前の発祥の紀元になったとか。

さて、昨今、関東地区では利根川の治水、利水について色々取り沙汰されており、政治問題にまで発展しています。資料によれば、元々の利根川は群馬北境から広大な関東平野を流域としながら縦断し、「坂東太郎」と称され、末は東京湾に注いでいました。

これにより、川の流向が変わり千葉県銚子を河口として、太平洋に注ぐことになり、現在に至っています。こうした無理な流路の変更が、自然の勾配を無視した、水の流れにくい川を作ってしまった。更に天明三年の浅間山の大爆発は河床を浅くして、結果として水害も起こり易くなってしまったようです。

これ等については色々な伝説もあり、彼の楚の国の豪国の士、屈原（くつげん）が身を投じた汨羅（ベキラ）の淵に餅を投げこむ祭りや、淮水（ワイスイ）の水神の話など、興味深い言い伝えが多くあります。

利根川の治水、利水の問題は時代の都合に翻弄されたともいえるようです。

古代、中国では黄河の治水に功績のあった者が王となり、これには伝説上の聖王として「禹」（ウ）なる人物が現れ夏王国の始祖となったという話が伝えられています。古文によれば当時は王宮といっても「土階三等のみ」とあり、土を盛った三段しかない程度の粗末なものでした。後になって宮殿に昇る階は「階」と呼ばれ、階段の下にいる近臣の取次ぎを経て、はじめて上間に達することから、「陛下」という語は、天皇、皇后の尊称に

なるといわれています。

利根川の治水、利水の問題は時代の都合に翻弄されたともいえるようです。

利根川の治水、利水の問題は時代の都合に翻弄されたともいえるようです。



大きなびたロシアの影 欧米列強の侵略恐れ富国強兵路線歩む

写真展「若殿様の日露戦争」

日本とトルコ、明治期から始まる友好の歴史
エルトゥール号遭難事件から120年

トルコ・イスタンブールを訪ねて

お客様紹介 ●社会福祉法人 県央福祉会 特別養護老人ホーム つかのめの里 様

水のこぼれ話

株式会社ヤマトPR誌
和's YAMATO 2010 Winter／第7号 2010年12月 発行(冬号) (季刊・年4回発行)
発行／株式会社ヤマト(総務部) 群馬県前橋市古市町118
TEL 027-290-1891 FAX 027-290-1896 URL www.yamato-se.co.jp



支店／東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎
営業所／軽井沢、伊勢崎、茨城、太田、栃木市、湘南、東松山、新潟、長野、渋川、川口、東北、多摩、滋賀
関連会社／大和メンテナンス株式会社 株式会社埼玉ヤマト 株式会社ヤマト・イズミテクノス ヤマト・イー・アール株式会社 大和ビジネスサービス株式会社 株式会社荒井興業

わす やまと
「和's YAMATO」の由来
ヤマトの漢字の和、Water & Airの頭文字を合わせてWA、Sはスタート、ヤマトが発信するメッセージです。

大きくのびたロシアの影 欧米列強の侵略恐れ富国強兵路線歩む

日露戦争で大きな功績のあった「坂の上の雲」主人公の
秋山好古と真之兄弟。当時の日本の置かれている状況と、
清国、ロシア、欧米列強との関係はどのようなものだったのか。



日清講和記念館内に再現された講和会議場

日清戦争の発端は 朝鮮半島の統治が遠因

明治維新によって欧米列強の支配を
かわし、国家の近代化に乗り出した日
本は、自国の安全保障にとって地理的
に重要な、朝鮮との外交関係を築こう
とした。もし朝鮮半島が他国に侵略さ
れたら、次に狙われるのは日本である
ことは明白だったからである。明治初
年、鎖国状態にあった朝鮮は、開国し
た日本を脅威ととらえ、明治政府の国
交樹立への働きかけを拒否していた。
明治二七（一八九四）年、朝鮮で内
乱が発生し、それを収めるべく日清両
国が出兵、日本は清に軍隊駐留を認め
させたかったが、それを拒否され、
全面戦争へと突入した。



日清講和会議には、日本全権の伊藤博文・陸奥宗光、
清国全権の李鴻章はじめ代表11名が出席した。

開戦時、秋山好古は陸軍少佐・騎兵
第一大隊長で第二軍に属し、遼東半島
で騎兵を率いて活躍した。真之は海軍
少尉で巡洋艦筑紫に乗船、偵察や通報
などの任務に従事し、敵の動きを冷静
に分析した。子規は新聞「日本」の記
者としており、戦争への昂揚感を俳句
に託して紙面で発表し、勝利への期待
をにじませていた。そして、開戦直後
から日本軍の勝利が続き、明治二八
（一八九五）年三月、下関条約が調印
され、日本は清からの賠償金や遼東半
島、台湾島を獲得した。しかし、露独
仏から日本の遼東半島（旅順などがあ
る日露戦争の舞台となる半島）占領は
認められないと通牒される（三国干涉）。
列強三国に対抗する軍事力を持たない
日本はこの通告を受け入れざるを得ず、
返還に応じた。当時、三国干涉を主導
したのはロシアで、日本の遼東半島占
領が、自国の領土拡大政策の障害とな
るからであった。
三国干涉と遼東半島返還があつてか
ら、日本にはロシアへの不満と脅威論
が高まっていく。その結果、※「臥薪嘗
胆（がしんしょうたん）」のスローガ
ンのもと、国民が重税に耐え働くこと
によって支えられる、富国強兵策が国
是とされた。

※臥薪嘗胆 復讐のために耐え忍ぶこと。
成功するために苦勞に耐えること。



講和会議場は下関にある料亭・春帆楼（しゅんばんろう）で行われた。
日清講和記念館はその隣に建てられている。



九連城（きゅうれんじょう）の戦い 明治37年5月1日、日本軍は韓国
と満州の国境に横たわる大河・鴨緑江（おうりょくこう）の渡河に成功、
対岸の要塞・九連城を占領した。この戦いの勝利で、日本の外債価格は
急騰して、戦費調達に多大な貢献をした。

日露戦争開戦時の国力比較

注）日本の面積には台湾、千島列島などを含む

	日本	ロシア		日本	ロシア
人口	約5000万人	約1億3000万人	常備兵力		
面積	約42万Km ²	約2135万Km ²	陸軍 歩兵	約15万人	総兵力約167万人（在極東軍約8万人）
歳入	約2.5億円	約20億円	騎兵	約2万人	総兵力約18万人（在極東軍 不明）
日露戦争で消費した戦費	約17億円	約22億円	火砲	約600門	総兵力約1万2000門（在極東軍約200門）
			総兵数	約20万人	総兵力約200万人（在極東軍約10万人）
			海軍 戦艦	6隻	総兵力22隻（在極東軍7隻）
			装甲巡洋艦	8隻	総兵力12隻（在極東軍4隻）
			巡洋艦	18隻	総兵力10隻（在極東軍不明）

「坂の上の雲」あらすじ
司馬遼太郎の小説「坂の上の雲」の前半は、秋山好古（あきやまよしふる）、真之（まねゆき）兄弟が明治の軍人として成長する姿や、俳句・短歌の改革に人生をかけた正岡子規（まさおかしき）の活躍が描かれている。後半では、秋山兄弟の歴史に残る騎兵隊や、乃木希典などの将官や、日本海海戦を始めとする各戦闘シーンが描かれている。司馬遼太郎は、「坂の上の雲」について、次のように語っている。
「楽家たちは、そのような時代人としての体質で、前のみを見つめながら歩く。登つて行く坂の上の青い天に、もし二朵（いちだ）の白い雲が輝いているとすれば、そのみを見つめて坂を登っていくであろう」（坂の上の雲・第3巻あとがきより）
この作品は、近代国家の仲間入りを目指し、わき目もふらず突き進んだ明治人たちの物語である。



秋山好古 あきやまよしふる
1859（安政6）年～1930（昭和5）年
伊予松山藩で下級武士の子として生まれる。陸軍に入り、日本初の騎兵隊を率い日露戦争でロシア騎兵と戦い勝利を収める。



秋山真之 あきまさとねゆき
1868（慶応4）年～1918（大正7）年
日本海軍の参謀で、日露戦争で戦われた「日本海海戦」を勝利に導く。「本日本気晴朗なれども波高し」という名電文を大本営に送ったことで知られている。



正岡子規 まさおかしき
1867（慶応3）年～1902（明治35）年
俳人、歌人、国語研究者で、明治を代表する文学者。写生、写実による生活に密着した作品を作り、短詩型文学の近代化に道を開いた。

司馬遼太郎 1923（大正12）年～1996（平成8）年
新聞記者から作家に転じ、「梟（ふくろう）の城」で直木賞を受賞。『燃えよ剣』『竜馬がゆく』『国盗り物語』などで人気作家となった。『街道をゆく』などエッセイも多数執筆、文化評論も行った。



トルコ記念館内に展示してあるエルトゥールル号の模型

明治二三（一八九〇）年、オスマン帝国（トルコ）からの使節団が、明治天皇に謁見のため日本を訪れた。この際、大使節団650名余りを受けて、イスタンブールから横浜まで航海したのが、「エルトゥールル号」である。しかし、エ号は日本からの帰途、紀伊半島の串本沖で台風に遭遇、600人近くが死亡する大惨事となったが、地元住民の救助活動と献身的な看護により、60名以上が存命。日本の船でトルコに帰国することができた。

このエルトゥールル号事件以前にも、日本とトルコとの間には、皇族の渡航をはじめとする親密な交流があった。

明治天皇の叔父にあたる小松宮彰仁（こまつのみやあきひと）親王夫妻が、明治二〇（一八八七）年にトルコ王室を訪問、明治天皇からの贈り物をトルコ皇帝に手渡した。その返礼としてエ号に乗った友好使節団が来日する運びとなったのである。

有色人種の主権国家は全世界で日本、トルコなど数カ国のみ

当時、西洋列強は世界各国で植民地をつくり、有色人種の完全な主権国家は、全世界で日本、トルコ、タイ、エチオピアなどわずか数カ国にすぎなかったという。日本とトルコは、ともに白人国家・ロシアの南下政策に苦慮し、とくにトルコはロシア・トルコ百年戦争（露土戦争）を戦うなど、長年ロシアと激しく衝突していた。

このように、アジア大陸を隔てた日本とトルコには共通の難題があり、白人支配から自国の独立を守るという大命題を持っていた。



日本とトルコ、明治期から始まる友好の歴史 エルトゥールル号遭難事件から120年

※北清事変（義和団の乱）
清国の戦間的な宗教結社・義和団が外国人の施設を襲い、それを支持した清政府軍と連合軍（日本・イギリス・アメリカなど八カ国）との戦争のこと。
わが国が初めて経験した先進諸国との連合作戦。日本軍の勇敢さと軍紀の厳正さに列強国だけでなく敵の清国からも称賛を得た。

しかし、日本国内には「大国ロシアとの戦争は無謀」とする意見もあり、ロシアとの通商条約締結で緊張を緩和しようとの動きもあった。

だが、こうした慎重論を押しつけたのが、明治三五（一九〇二）年に実現した日英同盟である。イギリスはロシアの影響力拡大を危惧し、日清戦争と北清事変で軍事的成長を遂げた日本との同盟で、ロシアの動きをけん制しようとした。欧米列強の雄であるイギリスの軍事的後押しを得て、日本とロシアとの戦争は遂に現実のものとなった。

当時のロシアの国力は日本を圧倒していたが、日本にとって有利な点は、ロシア陸軍の主力がヨーロッパ方面に置かれていたことにあった。

ロシア海軍の艦隊は北欧のバルト海、黒海などに分散されていたため、陸軍の兵力を結集するには時間がかかることになる。そのため、勝利を得るには、短期決戦で勝利し講和へと持ち込むことが、日本にとっての絶対条件であった。

写真展「若殿様の日露戦争」 Photo Gallery

最後の吉井藩主の次男「吉井信照」による日露戦争従軍記録
高崎市吉井郷土資料館にて開催中〈平成22年12月26日まで〉



十三里台の戦闘（明治37年）



南山の日本軍野戦砲（明治37年）



戦利品の防寒着を着て（明治37年）

最後の吉井藩主の次男で陸軍士官であった吉井信照氏は、当時の最新式のカメラを持って従軍し、日露戦争の写真を自ら撮影した。写真は帰国後3冊のアルバムに納められ、吉井家に保管されていたが、信照氏の娘である土屋百合子氏が旧吉井町に寄贈された。同展では、写真を拡大し、旅順周辺の戦場の風景、行軍の様子、兵士らの慰安の様子など、約80点を展示している。

高崎市吉井郷土資料館
〒370-2132
群馬県高崎市吉井町吉井 285
TEL：027-387-5235

利用案内
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）
開館時間：午前9時～午後5時まで
観覧料：無料

アクセス
上信電鉄「吉井駅」下車、徒歩5分
上信越自動車道「吉井IC」下車5分



トルコの初代大統領ムスタファ・ケマル・アタテュルクの騎馬像。
山田寅次郎はアタテュルクが若い時に日本語を教えていたという。



トルコ将兵と日本の軍艦・比叡と金剛の乗組員



トルコの軍艦・エルトゥールル号（竣工1864年、全長76m）は明治22（1869）年7月15日にイスタンブールを出航。その後アデン、ボンベイ、コロombo、サイゴン、香港等を経て、途中、寄港・修理を繰り返しながら、11ヶ月もの長い航海の後、明治23年（1890年）6月7日に、横浜港に到着した。



串本にあるエルトゥールル号遭難慰霊碑



トルコ記念館内の展示場



トルコ記念館の外観

（撮影協力 和歌山県串本市）

山田寅次郎 年表

Torajiro Yamada

慶応2（1866）年	8月23日、父沼田藩用人中村雄左衛門、母島の次男として藩主土岐家の上屋敷で生まれる。
明治6（1873）年	7歳 東京の寺子屋式の学問所に入るため上京する。
明治13（1880）年	14歳 茶道の山田宗寿の養子となる。 東京、横浜にて漢学、英語、独語、中国語、仏語を勉強する。
明治17（1884）年	18歳 東京薬学校を卒業する。新聞日本、東京日日新聞に寄稿する。この頃、東京日日新聞に入社する。
明治22（1889）年	23歳 前年大晦日に東京をたち、幸田露伴と共に群馬県を3日間旅する。
明治23（1890）年	24歳 トルコ軍艦エルトゥールル号が和歌山県串本沖で遭難する。義捐金運動を起こす。
明治25（1892）年	26歳 1月30日、義捐金を持って横浜港から出航する。3月7日、エジプトのポートサイドに到着。4月4日、トルコのイスタンブールに到着。外務大臣サイド・パシャに面会し義捐金を渡す。
明治29（1896）年	30歳 スルタン（皇帝）から依頼され、日本の美術工芸品収集のため一時帰国。貿易のかたわら、民間大使としての役割も果たす。
明治33（1900）年	34歳 大阪の貿易商の娘、タミと結婚する。
明治37（1904）年	38歳 日露戦争勃発。イスタンブールでロシアの黒海艦隊の動向を監視する。
大正3（1914）年	48歳 第一次世界大戦勃発に伴い帰国する。
大正13（1924）年	58歳 日本がトルコ共和国と国交を樹立する。
大正14（1925）年	59歳 日土貿易協会設立、理事長に就任する。
昭和3（1928）年	62歳 日土貿易協会主催によるトルコ軍艦遭難慰霊祭を行う
昭和6（1931）年	65歳 日土貿易協会理事長としてトルコを訪問、アタテュルク大統領と会談。
昭和32（1957）年	90歳 大阪で死去。



トルコに滞在し、トルコ風の衣装を身に着
けて水たばこを吸う山田寅次郎（38歳）

乗員の大半は荒れ狂う海へと飲み込まれたが、からくも一命を取り留めた69名のトルコ人たちは、檣野崎灯台に助けを求め、駆けつけた大島村民により手厚い救護を受けた。

この惨事に心を痛めた明治天皇は、生存者全員をトルコへ送り届けることを決定、軍艦・比叡と金剛をイスタンブールへと派遣し、さらに日本全国から義捐金が集められ遺族の元に送られた。異国の遭難者に対する日本人の深い思いやりはトルコの人々に感銘を与え、日本に対する親愛と敬愛の念を同国に抱かせることになった。

沼田出身の山田寅次郎とトルコとの交流

エルトゥールル号遭難事件では、日本の新聞社の呼びかけで義捐金が集められたが、個人でも募金活動を始めた青年がいた。その人物が群馬県沼田出身の山田寅次郎氏である。

山田氏は慶応二（一八六六）年八月、旧沼田藩の家老・中村家の次男として生まれ、幼少期を沼田で過ごし、その後は茶道家元の養子となり東京で生活した。茶湯の指導を受けながら漢学、英語、独語、中国語、仏語を

学びつつ文学に親しみ、幸田露伴や尾崎紅葉らが設立した「硯友社（けんゆうしゃ）」の人々他、文壇関係に多くの友人を持っていた。

山田氏は明治三二（一八八九）年のエ号遭難事件を知り、正岡子規が勤めていた「新聞日本」主宰の陸羯南（くがかつなん）らに働きかけ、紙面を通じて義捐金を募集、全国で追悼講演会を実施して、わずか1年で約5千円（現在の約1億円）を集める。

山田氏が義捐金の送金について当時の青木外務大臣に相談したところ、大臣は山田氏自身がトルコに行くことを勧める。明治二五（一八九二）年一月、海軍省がチャーターした英国船に同乗してトルコに向かうこととなった。

途中で下船し、3ヶ月かかってオスマン帝国の首都・イスタンブールに到着した山田氏は、皇帝アブデュルハミト二世に拝謁する。皇帝からは、外相を介して当地にしばらくとどまって陸軍士官たちに日本語を教えてほしいとの要請がありこれを快諾、日本と行き来しながら二十年間トルコに滞在した。その後山田氏は、日本とトルコの民間大使的な役割を果たし、両国友好の基礎を作った。



岩礁に荒波が砕け散る串本の景勝地 海金剛（うみこんごう）。この近辺でエルトゥールル号は、沈没した。

トルコ・イスタンブールを訪ねて



スタルファンアフメットモスク内の天井(イスタンブール)
16、17世紀頃、オスマン帝国においては壮麗なモスクが建設された。



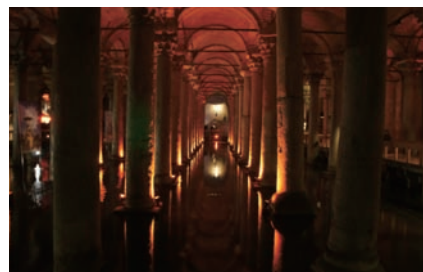
エフェス古代都市のセルスス図書館
エフェスはトルコ・エーゲ海地方イズミルの南方約70kmに位置する、古代の都市遺跡である。



エフェス遺跡の古代スタジアム
スタジアム(競技場)は、公共の施設といわれ、広々とした素晴らしい建物である。



アンカラを首都とするトルコ共和国は、小アジア半島とバルカン半島の南東端とにまたがっている。16世紀にはアジア、アフリカ、ヨーロッパにまで勢力を拡大し、オスマン帝国として最盛期を迎えた。公用語はトルコ語で、人口の約6割がトルコ人であり、住民の9割はイスラム教徒である。明治時代から現在まで親日国として日本とのゆかりが深い。面積約77万km²で日本の約2倍、人口は6200万人で日本の約半分。



イスタンブールの地下宮殿



グランドバザール



カッパドキアの洞窟ホテル外観
カッパドキア一帯には、凝灰岩が露出しており、長期間の侵食、風化により、奇岩が形成されている。



ボスポラス海峡
イスタンブール海峡ともいい、黒海とマルマラ海を結び付けている。この海峡により、トルコはアジア側、ヨーロッパ側とに分けられる。



トロイの遺跡
アジアとヨーロッパ(東西)、エーゲ海と黒海(南北)の接点となった古代都市・トロイは、大いに繁栄した。

Text&Photo/Naoya Kinoshita(平成22年10月撮影)

お客様紹介

● 社会福祉法人 県央福祉会 特別養護老人ホーム つかのめの里様 (新潟県三条市)

和みと笑顔の施設づくりで信頼を育む

「ほっと心が和む里、いつでも聞こえる笑い声」をキャッチフレーズにしている、新潟県三条市の「つかのめの里」様は、利用者一人ひとりの人間性を尊重し、明るく楽しく心が和む、生き甲斐のある施設として平成6年4月に開所しました。地域に開かれた高齢者福祉の拠点施設として、利用者の皆さんはもちろん、家族の皆さんの信頼と期待に応えています。

浅間事務局長と村山園長のお二人に、ヤマト蓄熱システムについてお話を伺いました。

浅間様 この建物は建築後15年が経過しているので、設備の経年劣化で故障しがちになり、運転効率も悪くなっております。ランニングコストの増加を何とかできないか、と考えていました。そんなところへヤマトさんから蓄熱システムのご紹介を受け、長岡の三古老人福祉会さんを視察させていただき、ランニングコストが大幅に削減できているというお話を直接伺いました。

初期投資がかかるので、熟考しましたが、いずれにせよ改修が必要なことと、蓄熱システムにするとランニングコストが大幅に下がることに加え、地球環境への負担を減らすという観点から、

採用いたしました。

村山様 この施設の事務スタッフは女性だけなので、機械のメンテナンスは苦手なんです。今までは、空調の異常があると機械室まで走って行き、どこが悪いのかを見つけて業者さんに連絡する、という手間がかかっていました。



霊峰・弥彦山を仰ぐ緑に囲まれた明るい環境の場所にあります。



施設は正面玄関を入ると吹き抜けになっているので、開放感にあふれています。

施設概要

開設 平成6年4月1日
経営団体 社会福祉法人 県央福祉会
敷地面積 8,790.058m²
延床面積 4,173.61m²
利用定員 特別養護老人ホーム/80床
ショートステイ/20床



社会福祉法人県央福祉会
つかのめの里 理事 園長
村山 裕子 様

社会福祉法人県央福祉会
常務理事 事務局長
浅間 仁 様



中庭にはさまざまな草木が生い茂り、和やかな癒しの場所となっています。



浄土真宗の祖・親鸞聖人が弥彦神社を参拝した際、水不足の住民を哀れみ仏に念じたところ、水がコンコンと湧き出てきたという。



御神橋の玉ノ橋。明治45年の弥彦大火の際、社殿はじめ境内の建造物が焼失したが、玉ノ橋だけはその難を免れた。



弥彦神社 境内の拝殿。2札4拍手1礼が弥彦流である。

万葉の時代から「おやひこさま」の敬称で親しまれている弥彦神社は、弥彦山の麓に鎮座する、由緒ある越後の一宮（その地域の第一の神社）です。また、神領地として、朝廷や幕府、武將の手厚い庇護を受けてきました。境内は樹齢400、500年の杉やヒノキなどの鬱蒼とした樹木に覆われ、朱色の一の鳥居をくぐると、あたりは荘厳な雰囲気 に包まれています。

弥彦神社の御祭神は天照大御神（アマテラスオオミカミ）のひまごにあたる天香山命（アメノカゴヤマノミコト）です。神武天皇から越後地方の開拓経営の詔を受けた天香山命は蛭族を平定し、住民に稲作や酒造法を授け、越後開拓・文化産業の始祖神として崇められています。

燕の産業は鋳起銅器が発端鋳起銅器（ついきどうき）とは、一枚の銅板を大小さまざまな鋳（ツイ）やタガネを用い、焼鈍（ヤキナマシ）を繰り返しながら、打ち延ばし・打ち縮めという鍛金の技術を駆使して仕上げられたものです。

その技術は、時代の変革とともに洋食器へと移行されてきました。職人の優れた技術が、そのままスプーン、フォークの生産技術にも応用され、燕はステンレス鍋・ケトルといった現在



全国トップシェアを誇る食器類

の金属加工一大生産地へと発展してきました。それらの製品は全国トップのシェアを誇り、昨今では材質も、ステンレス材をはじめ、チタン製や、美しい色合いの金・銀メッキなどもあります。また、ごくシンプルな製品から、デザイナーが手がけたもので、幅広くラインナップされています。



アクセスマップ

【新潟の名所・名産紹介】

弥彦・三条

越後一宮 弥彦神社

三条の名産品、伝統打刃物

三条を中心とした鍛冶の歴史は非常に古く、寛永2年の和釘（わくぎ）の生産が始まりとされ、今では兵庫県三木市などと並ぶ日本有数の刃物産地として有名です。

農家の副業として和釘の製造法を指導・奨励したのが始まりであり、現在、三条鍛冶の伝統を受け継ぐ利器工匠具・包丁などの刃物類は、全国的な知名度を誇り、代表的な特産品となっています。

越後三条鍛冶職人が手掛けた三条伝統打刃物から、ステンレス鋼・チタンなど豊富な材質で、三徳万能・菜切・牛刀・出刃・身卸・柳刃・鯨切包丁など、業務用の逸品が揃っています。



伝統に育まれた三条名産の和包丁



個室で1人での食事ではなく、ベッドで移動して皆と一緒に食事をするように配慮されています。



食堂は4カ所に分散されているので、アットホームな雰囲気です。

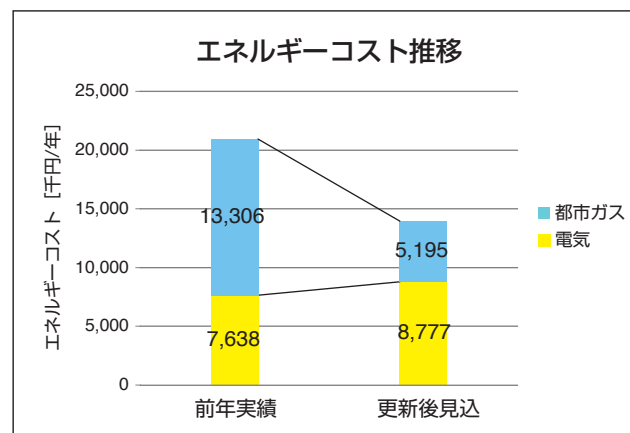
今は、運転状況を遠隔監視で見ただけ、異常はパネル上に出るので、手間がかからないので、安心感があります。

浅間様 導入後3ヶ月が経過し、猛暑の影響もありましたが、ランニングコストは確実に下がっています。このペースでいくと、年間のランニングコストは1/4以下になる見込みですので、維持管理費の削減に大きく貢献してくれるものと期待しています。また、ヤマトさんには性能保証契約がありますので、安心して設備の運用をお任せしています。

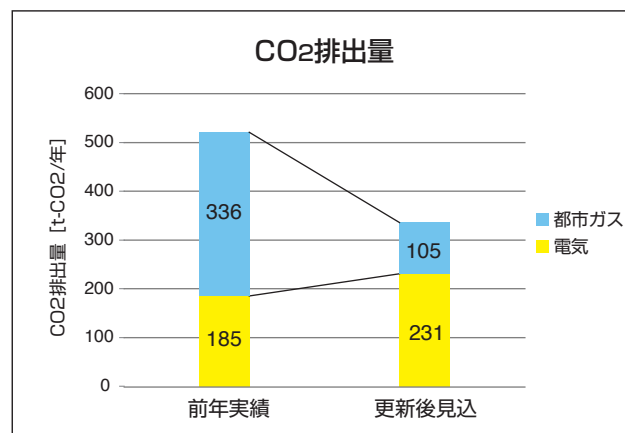
私達の団体は施設を複数経営していますので、新設や改修の設計段階から、このシステムを組み込んでいけば、空調費用を大幅に削減でき、経営の効率化に大きく寄与するであろうと考えています。

大温度差蓄熱空調システム 納入効果検証

熱源システム更新により、前年実績値のエネルギーコストよりおよそ33.3% 削減することが出来る見込みです。



熱源システム更新により、前年実績値のCO₂排出量よりおよそ35.6% 削減することが出来る見込みです。



施設概要

施設名称	特別養護老人ホームつかのめの里
所在地	新潟県三条市塚野目2380-2
建物概要	RC造2階建 延床面積 4,142m ²
用途	特別養護老人ホーム
竣工	平成6年3月
更新工事竣工	平成22年7月

システム概要

空調熱源	高効率大温度差蓄熱空調システム 空冷ヒートポンプチラー50馬力×2基
蓄熱槽	温度成層型水蓄熱槽150m ³
遠隔監視	ヤマトTASKPLUS
その他	空調機は既存利用